

パブリックコメントの市民意見及び回答

No	意見の内容	市の考え方	対応
1	<p>「現計画の目標に対する進捗状況」（P 2 1～）は、</p> <p>①「新規」「継続」「充実」が判断の目安なのでしょうか。</p> <p>②継続事業中、対費用効果をチェックする必要がある物があるのではないのでしょうか。事業によっては、継続して数値化も必要では。</p>	<p>①「新規」「継続」「充実」は、令和元年に策定した現計画の目標達成に向けた取組状況を示しております。</p> <p>②本計画における継続事業には、啓発に係るものが多く数値化が難しいため、今後においても事業の進捗状況や市民アンケートの結果を踏まえ、工夫や改善に努めながらより効果の高い取り組みを行っていきます。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>	
2	<p>プラゴミ回収の回収が増えて、個人で出すゴミ量がずいぶん減ったと感じています。</p> <p>しかし市では、ゴミ量の減少があまり進んでいないと聞いています。その大きな理由が生ゴミと紙の量が変わらないとのことでした。</p> <p>生ゴミを燃やすのに、大量の熱量が必要なのは素人でも理解できます。</p> <p>もう少し、生ゴミ処理の方法を考えていただければと思います。大木町など先進的な取組をされているようですが。</p>	<p>燃えるごみの排出量については、現計画に基づくごみの減量化・資源化の取組により、令和2年度からは減少傾向で推移し、令和5年度においては、令和6年度の目標値をすでに達成している状況です。</p> <p>市町村においては、その市町村における処理施設の設置状況、安定したリサイクルルート状況、さらには資源化にかかる費用やごみ出しにおける市民負担などを総合的に勘案し、ごみの分別区分や収集形態を決定しています。</p> <p>また、モデル事業については、市町村が本格的な分別収集等の実施に向け、問題・課題を抽出するために一部の地域などで取り組まれることもあります。</p>	原案のとおり
3	<p>ゴミに生ゴミを入れるのはおかしい。もえるゴミと生ゴミは別にした方がよいと思う。生ごみの有効活用を検討してほしい。</p>	<p>このような中、本市で生ごみの分別収集に取り組む場合には、生ごみの処理施設や回収体制の整備など新たな費用負担や、できた液肥の安定した活用が必要となります。さらに、紙おむつの分別収集に取り組む場合においても、回収体制の整備や衛生面に配慮した集積所の選定などの課題もあります。</p>	
4	<p>厨芥ごみ→たい肥化、紙おむつ→「フォレスト」委託などのモデル事業を始めてはどうでしょう。</p> <p>いつまでも「燃やすだけ」では、大牟田の財政は貧弱になるばかりかと思えます。</p>	<p>このようなことから、生ごみ及び紙おむつについては、引き続き燃えるごみとして収集を行うこととしております。</p>	

5	<p>新ごみ処理施設からの残渣見込みは、第三大浦谷処分場の残容量に影響しそうですか。</p>	<p>新ごみ処理施設からの処理残渣（焼却残渣）につきましては、セメント原料として処理を委託することが計画されています。</p> <p>このため、最終処分場（第三大浦谷埋立地）の残余容量に大きな影響はないと考えております。</p>	<p>原案のとおり</p>
6	<p>第一大浦谷、第二大浦谷処分場の遮水シートの点検も行われているのでしょうか。</p> <p>近隣の水質調査（？）なども、期間を定めて行なわれているのでしょうか。</p>	<p>第一大浦谷、第二大浦谷処分場は埋立が終了しており、遮水シートそのものの点検はできませんが、当該処分場における浸出水処理後の放流水については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等で規定される水質検査に加え、市独自で浸出水原水の検査を年4回行っており、検査項目すべてにおいて、法に定める基準値を満たしております。</p> <p>このほか、水質汚濁防止法に基づき、福岡県との連携のもと河川の水質について毎年検査を行っています。</p>	